

社協だより

～ふれあいネットワーク～

第36号 2017
平成29年5月1日発行

編集・発行: 社会福祉法人 伊佐市社会福祉協議会
【菱刈本所】伊佐市菱刈前目711-1(まごし館) TEL:0995-26-4120
FAX:0995-26-4783 E-mail:kotob019@po.minc.ne.jp
【大口支所】伊佐市大口里3054-1(元気こころ館) TEL:0995-23-0011
FAX:0995-23-0135 E-mail:ookuchicityshakyou@violin.ocn.ne.jp
※大口支所は4月から移転しております。

目次

- P1…社協会長 新年度あいさつ、平成28年度に実施した社協事業活動の一部紹介
- P2…平成28年度 伊佐市地区 日本赤十字・赤い羽根共同募金の実績報告、平成29年度 日赤運動月間(5/1～)の紹介
- P3…平成29年度 事業計画について
- P4…平成29年度 事業予算について
- P5…福祉サービス利用支援事業の紹介、い～さろんまごし開設について
- P6…香典返し・篤志(1～3月分)、祭壇貸付事業の紹介
- P7…心配ごと相談、児童・生徒のふれあいボランティア事業、ボランティア活動保険

忠元公園

新年度のごあいさつ

—い～さろんまごし開設・大口支所移転—
伊佐市社会福祉協議会 会長 周防原一雄



平成29年度は、社協にとりまして節目の年になりました。

一つには、これまで菱刈徳辺にあります生活支援ハウス・ひしのみ苑で開設しておりました通所介護事業を廃止し、まごし館で「い～さろんまごし」として介護予防事業を開設することにいたしました。

4月から介護保険制度が大きく変わり、市では介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業の実施により、要支援認定を受けた人・事業対象者として判定(地域包括支援センターによる判定)を受けた人は、訪問型と通所型のサービスを、また、65歳以上の市民の方は一般介護予防サービスが提供されることになりました。介護報酬の伸びを抑える効果はある一方で、福祉サービスを受ける機会の減少により、引きこもりが多くなり認知症の発生や重症化が心配されます。

伊佐市では、高齢化率が約40%に達し、人口流出も進んでいる中で、全ての人が住み慣れた地域で安心して暮らしていける環境づくりは大きな課題であると考えます。それゆえに、住民協働による地域におけるふれあいきいきサロンの開催や「い～さろんまごし」の取り組みは、大きな役割を持つものと考えます。今後、サービスの充実及び市民の皆様の健康維持・増進、いきがいにづくりに更に努めてまいります。

次が、大口支所の移転であります。これまで市の旧市立図書館をお借りしていましたが、4月から「元気こころ館」の管理業務を受託し、併せて支所を移転することになりました。街の中心部に位置し、駐車や交通の利便性が良くなると同時に施設の適切な管理と丁寧な接遇に努めてまいります。

今年度も、市民の皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

～平成28年度に実施した伊佐市社協の取組みについての一部ご紹介～

ねんりん大学の講師を実施しました！

昨年9月に県社協主催で3日間のコースを伊佐市で実施し、伊佐市社協で講義を受け持った時間では、『伊佐市における地域福祉活動』について、社協事業活動の紹介や、そもそも地域福祉とはなんぞや？という話をさせていただきました☆

『今回、3日間のコースを受講された方の感想は…』

- ・自治会の活動から少しずつ行動していきたい。
- ・ふれあいきいきサロンがもっと広がってほしいと思います。
- ・もっとこの講義の場を他の人に知ってもらいたい。
- ・今現在している活動にもっと参加していきたい。

その他でも、講義であった高齢者の社会参加・健康・環境問題やコミュニティ活動(視察研修)など、とても有意義だった、ぜひ今後に活かしたいなどの感想を沢山いただきました！興味のある方は、機会のある際にはぜひご参加ください☆



ねんりん大学での講義の様子

垂水市の災害支援を行いました！

昨年9/20に発生した台風16号の影響で、大きな被害に遭われた垂水市の災害支援を行いました。始良伊佐地区社協連絡協議会(霧島、始良、伊佐、湧水)の災害時相互応援協定に基づき、県社協からの応援要請を受けて、伊佐市社協からも職員2名を9/30～10/2まで派遣し、主に災害ボランティアセンターの運営支援を行ってまいりました。

今回の垂水市の災害支援においては、河川の氾濫による家屋の泥の排出作業が主であり、住宅の被害は相当なものでしたが、週末には地元高校をはじめ、鹿児島市内の高校生の団体ボランティアの方々など多数来られており、地域の方々の早急な支援がとても心強く感じました。

当市においても、今後どんな災害が起こるかわかりませんが、緊急時であってもすぐに対処・行動できるよう、普段からの準備や訓練が必要だと考えております。

始良伊佐地区社協連絡協議会にて災害時ボランティアセンター設置訓練を昨年12月に始良市で実施しており、また本年度も5月中旬に霧島市で実施予定です。その際の訓練の様子についても、改めて社協だよりで報告いたします。



災害から10日ほど経っていましたが流木や土砂がかなり残っており、被害の甚大さを物語っていました。



災害ボランティアセンター受入準備の様子

平成28年度 日本赤十字・赤い羽根共同募金ご報告

市民の皆様の思いやり・お心遣いに心より感謝いたします！

日本赤十字社 鹿児島県支部 伊佐市地区会費実績報告 4,497,351円

皆様から頂いた会費は、日赤県支部の災害救護などにも使われています！

◆平成28年 熊本地震の支援活動について

『熊本県支部への救援物資輸送内容』

- 毛布1,000枚(地震翌日早朝に輸送)
- タオルケット500枚(被災地要請にて6/15輸送)

『熊本地震の救護活動内容』

- 4/16～6/2まで救護班を延べ25名派遣
益城町や南阿蘇村などの避難所における医療救援や
巡回診療、医療ニーズの調査等を行いました。

- 日赤熊本県支部災害対策本部へ延べ11名派遣

※災害時にお届けする毛布・タオルケットは、真空パックで保管しています。



◆平成28年 台風16号の被害地域への対応について

平成28年9/20に台風16号の鹿児島県上陸により県内では各地で大きな被害が発生しました。被災地域からの要請を受け下記救援物資を迅速に輸送しました。

- 県内以下4地区(鹿屋市、南九州市、垂水市、三島村)へ合計毛布214枚、緊急タオルケット122個、見舞品タオルケット117個、タオルケット122枚、ブルーシート112枚を輸送



皆さまから寄せられた活動資金は、次のように使われます。

例えば500円のご協力なら…

将来の赤十字活動のために 21円

災害と設備整備等のために 24円

赤十字活動の運営と推進のために 102円

救護看護師養成のために 8円

市町村における赤十字活動のために 79円

災害救護活動のために 44円

救急法等講習会のために 30円

赤十字奉仕団・青少年赤十字育成のために 49円

赤十字思想の普及のために 76円

献血・社会福祉事業のために 3円

国際活動のために 64円



日赤県支部の平成29年度一般会計歳出予算より

＋ 5月は日本赤十字の運動月間です！＋

～赤十字は、皆様からいただく会費(活動資金)で人道支援に繋がる様々な事業を行っております！～

左記等事業のほか、鹿児島県支部においては赤十字病院、血液センター、特別養護老人ホーム錦江園の運営事業も行っております。

Q. なぜ500円を目安として協力をお願いをしているの？

A. 日本赤十字社法及び定款によって定めており、皆様へ会員加入をお願いをしています。

～ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します～

『伊佐市での義援金受付状況』

平成28年熊本地震 4,661,994円

東日本大震災 33,175円

(上記は平成28年度受付確認分です。)

平成28年熊本地震・東日本大震災に対し、義援金へのご協力をいただき、まことにありがとうございます。

左記の通り、義援金受付状況のご報告とお礼を申し上げます。

赤十字はこれからも義援金受付をはじめ、皆様に寄り添った活動を続けてまいります。

赤い羽根共同募金 伊佐市共同募金委員会『赤い羽根募金 実績報告』

伊佐市 一般募金・歳末たすけあい募金総額 5,772,622円

一般募金総額…5,262,622円

区分	実績額(円)
戸別募金	4,165,650
街頭募金	0
法人募金	764,000
学校募金	79,426
職域募金	162,174
イベント募金	23,493
個人募金	10,209
その他	57,670
合計額	5,262,622

歳末たすけあい募金…510,000円

寝たきりの高齢者や障がい者(児)等の方々102人(各5,000円)へ民生委員の方々へご協力いただき、越年見舞金をお贈りいたしました。

市民の皆様方からいただいた歳末たすけあい募金活動中の街頭募金や、企業募金を越年見舞金として充てております。

昨年10月1日から12月31日までの間、伊佐市内の職場・学校・街頭等多くの場面で、募金にご協力いただきありがとうございました。おかげさまで多くの募金が集まりました。



今回お寄せいただきました募金は、全額を県共同募金会へ送金しており、その金額の約7割が今年度の伊佐市の福祉活動の資金として配分されます。この配分金は、今年度の市内小中学校でのボランティア活動、各福祉団体への助成、福祉イベント開催、社協だよりの作成、ふれあいいまじきサロンへの助成等に使われます。

赤い羽根募金の使いみちの詳細について知りたい

方は…

はねっと



と検索してみてください！

平成29年度 事業計画

【基本方針】

少子・高齢化の進展や社会情勢の変化に伴い、生活困窮者や社会的孤立に対する支援など、福祉ニーズはこれまで以上に多様化・複雑化してきました。

伊佐市も同じような状況の中で、誰もが安心して暮らすことのできる社会実現は、市民の願いであり大きな課題でもあります。

昨年、社会福祉法の改正があり、地域公益活動の実施や経営組織のガバナンス及び財務規律の強化など多岐にわたって社会福祉法人改革が行われました。

社会福祉協議会には、地域福祉推進の中核的役割を果たすのみならず、サービスの創意工夫と、ほかの事業主体で対応が困難な福祉ニーズに対しても果敢に挑戦することが求められています。

伊佐市では、4月から介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業の実施により、要支援1・2の認定を受けた方・事業対象者として判定を受けた方には、訪問型サービス及び通所型サービス、また65歳以上の全ての方を対象とした一般介護予防事業が提供されることになりました。

これを受けて、本会事業の全般的な将来像を展望するにあたって、これまで培ってきた実績をもとに介護予防通所事業に今まで以上に注力するため、「い～さろんまごし」を開設することにいたしました。

また、4月からは大口支所を「大口元気こころ館」に移転し、市民の利便性を向上すると共に、施設の適切な管理運営と丁寧な接遇に努めてまいります。

今後も市民の皆様が住み慣れた地域で生活できるよう、これまで取り組んできた「ふれあい・いきいきサロン」の開催に向けた支援や、地域での見守り活動支援など、行政や関係団体との連携・地域住民の参画をいただきながら、積極的に取り組んでまいります。

伊佐市社協事業 実施計画

組織・事務局体制・財政基盤の充実

ボランティアセンター運営事業の推進・充実

介護保険事業等の推進・充実

収益事業の適正な運営

高齢者等福祉活動の推進

在宅福祉サービス事業の推進・充実

生活の自立を支援する貸付事業

受託事業の適正な運営

地域福祉活動を高める広報活動
・イベント活動への支援

相談所の充実

共同募金会委員会の推進・充実

日本赤十字社事業と災害等援助活動への協力

各種福祉団体等の育成や助成・援助活動

【重点目標】

- ① 新総合事業への参入と活動の拡充
- ② 地域住民等のボランティア体験や活動の推進
- ③ 高齢者、児童・生徒に対する活動への支援
- ④ 各事業の分析及び再確認
- ⑤ 業務に対する意識改革と職員の資質向上



平成29年度 事業予算

平成29年度の予算、事業計画などを審議する理事会・評議員会が3/28(火)に開催され、本年度の事業方針及び事業計画、予算等が決定されました。

平成29年度の事業方針及び事業体系、予算については3,4ページのとおりです。「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の達成に向け、市民の皆さんとともに一歩ずつ活動を進めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(単位：円)

勘定科目			法人合計	社会福祉事業	収益事業
事業活動による収支	収入	会費収入	2,932,000	2,932,000	0
		分担金収入	489,000	489,000	0
		寄附金収入	6,000,000	6,000,000	0
		経常経費補助金収入	15,581,000	15,581,000	0
		受託金収入	39,847,000	39,847,000	0
		貸付事業収入	510,000	510,000	0
		事業収入	43,140,000	43,140,000	0
		介護保険事業収入	44,422,000	44,422,000	0
		障害福祉サービス等事業収入	1,200,000	1,200,000	0
		祭壇貸付事業収入	8,380,000	0	8,380,000
		受取利息配当金収入	65,000	55,000	10,000
		その他の収入	70,000	60,000	10,000
		事業活動収入計	162,636,000	154,236,000	8,400,000
	支出	人件費支出	115,329,000	111,299,000	4,030,000
		事業費支出	31,264,000	30,825,000	439,000
		事務費支出	11,778,000	10,769,000	1,009,000
		祭壇貸付事業支出	2,000,000	0	2,000,000
		貸付事業支出	500,000	500,000	0
		助成金支出	1,235,000	1,235,000	0
		負担金支出	158,000	158,000	0
		事業活動支出計	162,264,000	154,786,000	7,478,000
		事業活動資金収支差額	372,000	-550,000	922,000
その他活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入	70,000	70,000	0
		その他の活動収入計	70,000	70,000	0
	支出	積立資産支出	45,000	40,000	5,000
		サービス区分間繰入金支出	70,000	70,000	0
		その他の活動による支出	4,763,000	4,503,000	260,000
		その他の活動支出計	4,878,000	4,613,000	265,000
		その他の活動資金収支差額	-4,808,000	-4,543,000	-265,000
		予備費支出	1,446,000	1,194,000	252,000
		当期資金収支差額合計	-5,882,000	-6,287,000	405,000
		前期末支払資金残高	72,922,000	68,507,000	4,415,000
		当期末支払資金残高	67,040,000	62,220,000	4,820,000

～住み慣れた地域で安心して暮らすために～

ご存知ですか？『福祉サービス利用支援事業』

ご利用できる方

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が低下されている方で、日常生活に不安がある方など



日常の暮らしやサービス利用に必要なお金の出し入れに自信がない…

最近、物忘れが多く通帳やはんこ等、どこに置いたのか分からなくなってしまう…

福祉のサービスを利用したいけど、どうすればいいのか…

このようなことで
お困りの方に…

お手伝いします！

ご本人の意向を確認させていただき、支援計画に基づいてサポートいたします！

まずは伊佐市社協まで
ご相談を☆ 26-4120

・福祉サービスの利用の
相談や申し込み



・日常の暮らしに欠かせない
お金の出し入れ



・大切な通帳や印鑑等を
安全な場所でお預かり



祝 い～さろんまごしを開設いたしました！ 祝

伊佐市に桜が咲き始めた4月5日。日帰り入浴サービス・伊佐市総合事業通所サービスご利用のお客様の見守る中、い～さろんまごし開設セレモニーを開催いたしました。

管理者 有菌の挨拶、伊佐市社協 周防原会長の挨拶のあと、日帰り入浴サービスご利用の大口忠元会代表の方にくす玉を割っていただき、い～さろんまごしのスタートとさせていただきました。

スタートしたばかりで至らない点もあるかと思いますが、「皆様がずっと元気で！」をモットーに頑張ってまいります。伊佐市民の皆様がもっともっと元気になりますよう、ご利用宜しく申し上げます。



管理者 有菌から挨拶



い～さろんまごしオープン！



社協 周防原会長から挨拶



くす玉を割ってお祝い！☆



い～さろんまごしスタッフ 管理者の有菌です。
無事にオープンの日を迎えることができ、関係者の皆様に感謝の気持ちが伊佐市の桜のように満開です。よかおなご・よかにせのスタッフが、皆様のご参加を楽しみに待っております。皆様の笑い声が伊佐市全域・鹿児島県全域・日本全国に届くよう、元気いっぱい輪を作っていきたいと思っております。
まず、来て！見て！感じていただきたいです。迷わず電話26-4343(い～さろんまごし)にお電話ください。お待ちしております。

たくさんの善意に感謝いたします。【香典返し・篤志】

～やさしい心をありがとうございます～

社会福祉協議会では、皆様からたくさんのご寄付(香典返し・篤志)をお預かりしております。
お預かりしたご寄付は、市民の皆様の福祉向上のために大切に使用させていただきます。
今回の掲載は、平成29年1月1日～平成29年3月31日に受け付けたものです。
大変失礼ですが、敬称は略させていただきます。
香典返し・篤志の掲載、故人・金額は、ご寄付者様のご希望のみ掲載しております。
ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。

菱刈本所・大口支所受付(順不同)

【香典返し】

	自治会等	ご寄付者名	故人名	金額(円)		自治会等	ご寄付者名	故人名	金額(円)
1	石井	帆北 美保子	帆北 政明		30	西本町	寺原 満子	竹内 ヒサ子	
2	上青木中	富田 民子	富田 金義		31	包ノ原	福島 秀人	福島 ハル子	10,000
3	朝日町	吉田 彰男	吉田 正男		32	原田	小藺 吉宏	小藺 俊正	
4	三日月	吉留 哲郎	吉留 春美		33	平出水中央	六田 孝司	六田 ハルエ	
5	駅前	久美田 昭人	久美田 典子		34	共進	川越 ともえ	中西 ヒデ子	
6	朝日町	白谷 ツヤ子	前田 トミ子		35	産野	森永 のり子	森永 スガ	
7	朝日町	岩城 千代子	岩城 文子		36	本城麓	上田 壽枝	上田 晃	
8	篠原	藺牟田 好治	内村 クミ		37	平沢津	福永 重夫	福永 マツ子	30,000
9	篠原	藺牟田 明	藺牟田 鈴子		38	大峰	藤田 良一	藤田 栄蔵	
10	重留西	遠矢 和代	遠矢 敬久	30,000	39	下市山	馬場 嘉弥	馬場 幾	
11	下青木	西口 美鈴	西口 貴		40	小原松山	酒匂 美代子	酒匂 光生	
12	下元町	岩重 雅幸	岩重 和子		41	前目下	池之上 勲	池之上 アサノ	
13	大住	山下 イサ子	山下 照美		42	並木	堀ノ内 芳人	堀ノ内 幸子	30,000
14	改星の里	新屋敷 秋美	新屋敷 ヒサ子		43	下手仁王	廣瀬 照美	廣瀬 冬野	
15	大島南	久保 真人	久保 トシ子		44	本城町	佃屋 博昭	佃屋 スミエ	20,000
16	釘野々	高木 徹	高木 満庫		45	始良市	福貴島 隆久	福貴島 イセノ	50,000
17	下之馬場	山元 久美子	山元 重明		46	下荒田	立川 シゲ子	立川 景義	
18	前目下	福原 真由美	福原 千恵子		47	比良	築川 延喜	築川 エミ子	
19	諏訪馬場	高城 智恵子	高城 サエ		48	前目麓	寺床 秀満	寺床 スエ子	
20	下之馬場	帆北 誠	帆北 多美子		49	後村	池島 友二郎	池島 美知	30,000
21	下荒田	南 富恵	南 光夫		50	柳野	柳野 アツ子	柳野 一誠	100,000
22	高津原	松元 正	松元 りき子		51	花北下	中間 洋子	中間 軍生	
23	戸切	中山 茂廣	中山 ユキエ		52	山田	原田平 優	原田平 ハツミ	
24	麓町	山之内 照子	大浦 久子		53	徳辺上	鹿島 昭一	鹿島 房子	
25	川島	大野 スミエ	大野 春男		54	下荒田	松木 信子	松木 俊美	
26	富士	丸山 光雄	丸山 ハツエ		55	本町	山元 國枝	山元 ツユ	
27	後村	原田 幸子	原田 幸綱		56	小原松山	木地山 水仙	木地山 洋子	50,000
28	諏訪馬場	橋口 良一	橋口 ナカ		57	本町	末吉 エツ子	末吉 實	
29	東戸切	小水流 良子	小水流 久重						

『お詫びと訂正について』

(社協だより 第35号 12月受付 右列上段1段目 No.35)
右記の通り、訂正させていただくと共に
関係者の方に対しまして、お詫び申し上げます。

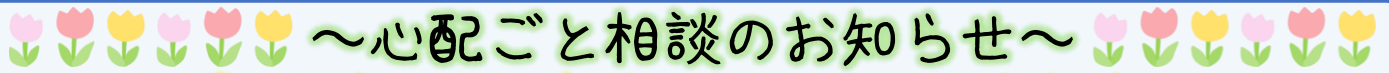
	自治会等	ご寄付者名	故人名	金額(円)
	荻原	荻原 イサ	荻原 淡	

【篤志】

自治会等	ご寄付者名	金額(円)
湯之元	早水 洋久	10,000

～祭壇貸付事業のご案内～

葬儀に関するお問合せ・ご相談は、下記までご連絡ください。
伊佐市社協:26-4120 担当携帯(肥後):090-2714-3317



日常生活の中で困りの事はありませんか？お悩みの解決の糸口に！

伊佐市社協では、市民の皆様の様々な悩みごとに対し、心配ごと相談を行っており、相談員が対応致します。（※相談は無料です！尚、相談内容等、個人情報厳守します。）

日程及び場所 5/10(水) [元気こころ館] 6/7(水) [まごし館]
(毎月第1水曜日) 7/5(水) [元気こころ館] 8/2(水) [まごし館]

※5月(大口地区)の日程は、祝日の為、3日⇒10日に変更しております。

児童・生徒のふれあいボランティア事業

～小・中・高校生はポイントを貯めて活動認定証をもらおう！～

☆対象活動

例) 道路・自治会・地域コミュニティ協議会の清掃活動、社会福祉施設等での活動、
収集・募金活動、高齢者サロン等との交流、文化継承・郷土芸能伝承等

☆利用方法



☆カード配布(窓口)

伊佐市社会福祉協議会(本所、支所)、社会福祉施設、伊佐市内コミュニティ協議会、伊佐市内小中高校

☆ポイントが貯まったら…

10ポイント貯まったら、社協窓口へお持ちください。

社会福祉大会・学校行事等において、『ボランティア活動認定証』を交付いたします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK16-16921 2017.2.3作成〉